

組合現勢 (昭和十一年九月現在)

支部名	組合員数		所在地	正副支部長
	男	女		
製網労働組合	一〇六	五五	川崎市河原町七五六	組合長 三木治朗 副支部長 計長
川崎支部	五五	二五	川崎市河原町七五六	組合長 鈴木新太郎 副支部長 安藤新一
小倉支部	四六	四	小倉市砂津五八二	組合長 福井吉民 副支部長 森岡三太郎
兵庫支部	六	五	神戸市須佐野通五ノ三	組合長 大塚謙 副支部長 大塚謙
泉南出張所	三	一	大阪府堺市北旅籠二	組合長 種田徹 副支部長 種田徹
千住分會	三	一	東京市足立区千住五	組合長 飯田門作 副支部長 飯田門作
直屬	三	二		組合長 三木治朗 副支部長 飯田門作

組合概況

組合長 三木治朗

過去二ヶ年間に於ける組合の現勢は、組合員諸君の協力と幹部諸君の努力により先づ大過なく順調な發達を遂げつゝあつたと云ふことが出来ると思はれる。

第八回及第九回の労働条件協定委員会に於ける協定事項は、會社自發的の定期昇給の五割増、慰安會開催に代る組合十周年記念に對する寄附金等であつた。

労働条件協定委員会も回を重ねること九回これが開催の都度、労働市價の標準を無視して有利なる條件を得ることの困難なることは云ふを俟たぬ所であつて、たゞこれが按配調節が公正にして組合員の福祉に悖らざるものであらねばならぬ、幸に勞資相互の理解は回を重ねるに従つて深まり、總てが圓滿裡に協定し得たことは共に満足すべきであると思はれる。

次に特記すべきは組合創立十周年の記念事業である、第一に組合創立の二月十六日を組合記念日と定め、各支部それぞれ記念式を舉行、以後毎年これが舉行を見ることとなつた。

第二に功勞者及組合全員に記念品の花瓶を贈呈した事であり、第三に十週年記念組合大會に組合員全員及關係各方面に贈呈する「團體協約十年」の刊行である。その他組合映畫の作成、國旗掲揚塔の建立、各支部に於ける各種の催し等、製網労働組合の歴史を飾る、意義深き記念事業と云ふ事が出来る。

更に福利事業としては、義務貯金、住宅部の實施を始め各種事業の發展充實を見つゝあり、今後